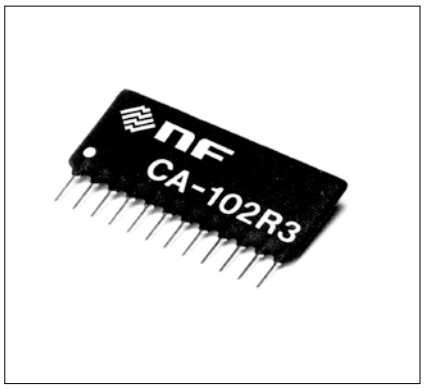
高速インバーティングアンプ

CA-102R3



CA-102R3は外付抵抗2本で利得が設定できる反転増幅専用の増幅器です。利得1のとき、小信号の周波数特性は−3dB点が10MHz以上、フルパワーで1MHz以上あり、スルーレートは約200V/μsです。最大出力電圧は±10Vで、電流は最大10mAです。DT-208Dシリーズの応用で、連立チェビシェフフィルタを構成するとき、減衰極を作るための加算器として最適です。また、すぐれた周波数特性と、小型であるという利点を生かした幅広い応用が考えられます。

▼増幅特性

利　得	外付抵抗2本による（R_{IN}、R_{NF}）　Gain= $\frac{R_{NF}}{R_{IN}}$
周波数特性	フルパワー　DC〜1MHz 小信号　DC〜10MHz（±3dB）
スルーレート	200V/μs（typ）

▼入力特性

インピーダンス	R_{IN}による
最大入力電圧	±10V

▼出力特性

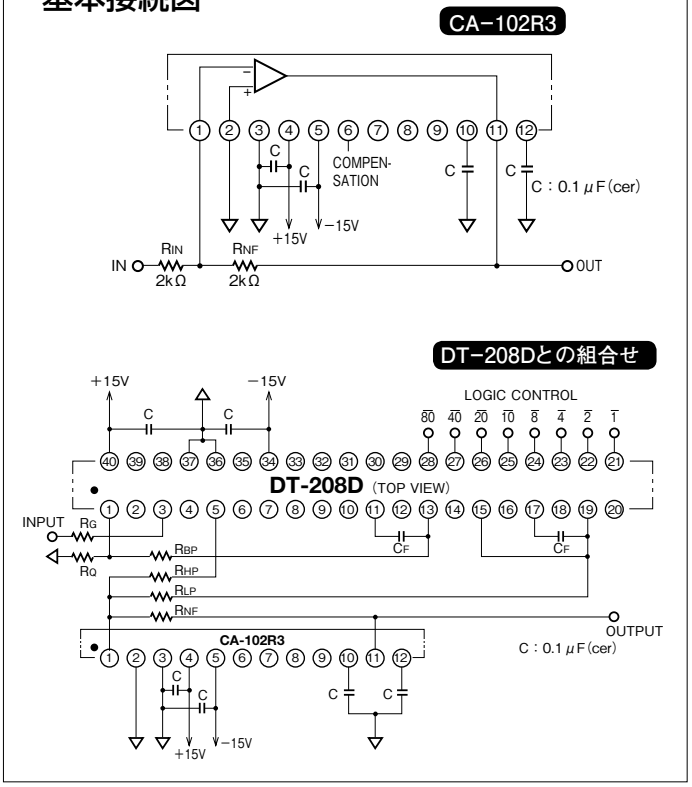
インピーダンス	5Ω以下
最大出力電圧	±10V
最大出力電流	±10mA
オフセット電圧	±7mV（typ）

▼その他

電源電圧		±15V（±14V〜±16V）
消費電流		±20mA（typ）
温湿度範囲	動作	−20〜70℃　10〜95%RH
	保存	−30〜80℃　10〜80%RH
外形寸法		32×13.3×4.0mm、S12型

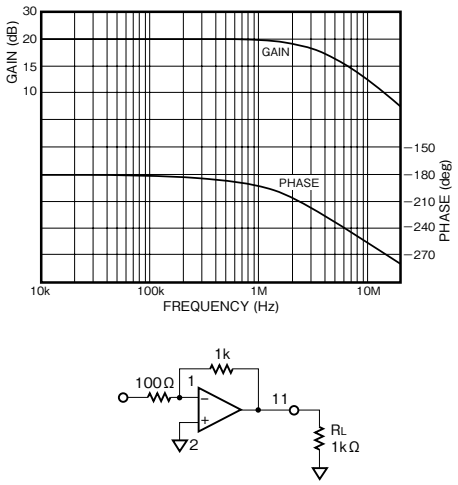
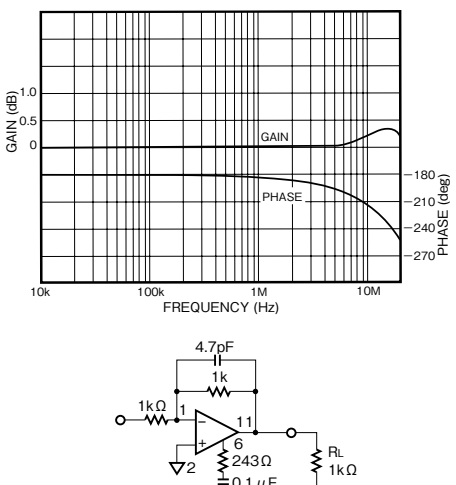
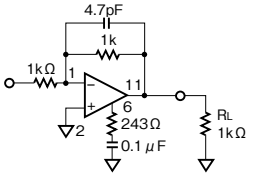
注）特記なき場合は23℃±5℃、Vs＝±15V、R_{IN}＝2kΩ、R_{NF}＝2kΩ時

基本接続図



特　性　図

振幅位相特性（利得20dB）



振幅位相特性（利得0dB）